

カビ・ダニ

カビやダニは、ぜんそくやアレルギーなど健康を害する原因と言われています。発生を抑えるには栄養分を与えないこと、そして温度と湿度の管理が大切です。日頃から積極的な換気を心掛けましょう。

カビ

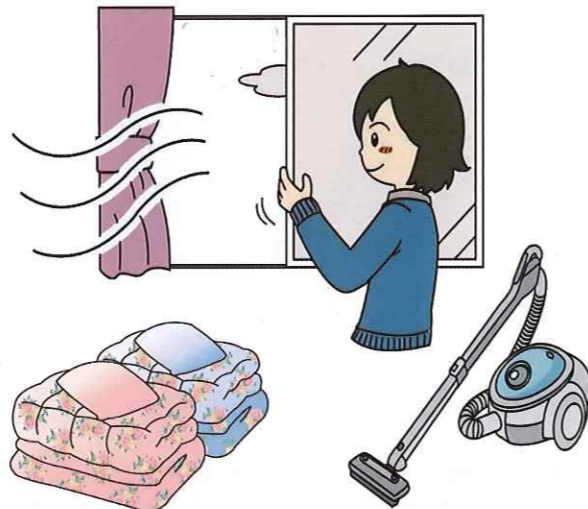
温度 25～30℃、湿度 70%以上で発生します。建材や仕上げに使われる接着剤や糊を栄養分として、結露によるシミや湿気のある場所に発生するので、結露を防ぐこと、換気をよくすることが重要です。

● 防止対策

- 家具の裏側や、押し入れの奥等は通風が悪く、高湿度でカビが生えやすくなっています。押し入れの床と壁にはすのこを敷くなどし、家具の裏側は壁から5～10cm程度離すなどして空気の循環を良くしておきましょう。
- 換気、通風をよくし、結露を防いでください。

● 対処法

- 発生したら、薄めた中性洗剤にひたした雑巾をかたくしぼり、よく拭いた後でドライヤーなどで乾燥させます。また、防カビ剤は短期的なら効果があります。



ダニ

高温多湿を好み、一般的には夏に発生し、活発に活動をはじめます。最近では空調が発達し、生活様式も変化したため、住居内でダニが活動しやすく季節を問わずに発生します。ホコリ、フケ、皮脂などをエサにするため、カーペットやたたみ、カーテン、衣類などを不潔にしていると発生の原因になります。

● 防止対策

- 日頃の掃除で、繁殖を抑えることができます。こまめに掃除をして、室内を清潔にしておきましょう。
- 部屋の中の家具の上にホコリがたまらないように注意し、掃除の時はホコリを立てないように掃除機で吸い取るか、雑巾などで拭き取ります。
- たたみの上にカーペットなどを敷くのは避けてください。たたみの通気性が悪くなり、ダニの住みかになります。
- 湿度が高くなるように換気、通風に注意してください。

● 対処法

- 市販の殺虫剤や防虫紙などで駆除します。



※ご使用の際は説明書に従ってください。

ハウスダスト

- 最近の住宅は高気密のため、目に見えるホコリは取り除けても、ハウスダストは取り除きにくくなっています。カビ、ダニの繁殖を抑えること、換気してハウスダストを室外に追い出すことなどが大切です。
- 室内に浮遊する微粒子のことで、チリ、ホコリ、ダニの死骸、ダニのフン、繊維くず、花粉の胞子、タバコの煙粒子などたくさんの種類があります。いずれも目に見えないぐらいの小さなホコリです。アレルギー症状や、花粉症ぜんそくなどの症状の原因といわれています。

シックハウス対策

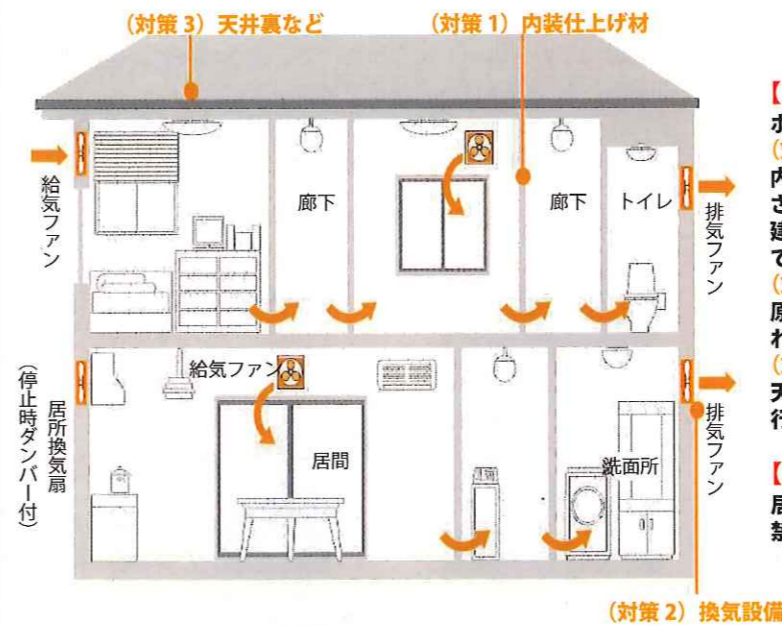
住宅内に発散した化学物質の影響によってさまざま健康被害を起こすシックハウス。住宅の高気密化、ライフスタイルの変化なども一因と考えられています。正しい対策を行って、健康に暮らしましょう。

シックハウス対策

新築やリフォーム後など頭痛やめまい、吐き気、喉の痛み、目がチカチカするなどの症状が出る場合があります。これらの症状は「シックハウス症候群」と呼ばれ、建材や家具、日用品などから発散するホルムアルデヒドやトルエン、キシレンなどの揮発性有機化合物（VOC）が、その原因の一部だと考えられています。また、住宅の気密性が高くなり、ライフスタイルの変化に伴う換気不足なども影響があるとされています。

『シックハウス症候群』の訴えが急増したため、2003年に建築基準法が改正されました。改正建築基準法に基づくシックハウス対策は以下のようになりました。

● 2003年建築基準法の改正



【ホルムアルデヒド対策】

ホルムアルデヒドは木質建材などに使われている刺激のある気体です。
【対策1】内装仕上げ材の制限
 内装仕上げに使用するホルムアルデヒドを発散する建材の面積が制限されます。建材の中でもホルムアルデヒドの放散量が少ないものには『F☆☆☆☆』でフォスターと呼びます。

【対策2】換気設備設置の義務付け

原則としてすべての建築物に24時間機械換気設備の設置が義務付けられています。

【対策3】天井裏などの制限

天井裏などから居室へのホルムアルデヒドの流入を防ぐための処置を行います。

【クロルピリボス対策】

居室を有する建築物には、シロアリ駆除剤のクロルピリボスの使用を禁止します。

シックハウス症候群とは

住宅の高気密化や化学物質を使った建材の使用などにより、室内空気汚染がおこり、居住者の体調に影響を及ぼす症状をさします。

原因

- 構造材、内装材、家具などから化学物質が放散
- 換気不足による空気の滞留
- 住宅の高気密化

症状

- 頭痛、めまい、吐き気 など



建築材料の区分	ホルムアルデヒドの放散	JIS、JASなどの表示記号	内装仕上げの制限
建築基準法の規制対象外	少ない	F☆☆☆☆	制限なしに使える
第3種ホルムアルデヒド放散建築材料		F☆☆☆	使用面積が制限される
第2種ホルムアルデヒド放散建築材料		F☆☆	
第1種ホルムアルデヒド放散建築材料	多い	旧Ee、Fce 又は表示なし	使用禁止

日常のご注意

- 新しい家具やカーテン、カーペットなどにもVOCを発散するものがあるので注意しましょう。
- 家具や床に塗るワックス類などにも発散するものがあるので注意しましょう。
- 防虫剤、芳香剤、消臭剤、洗剤、化粧品、香水、整髪料などにも発散するものがあるので注意が必要です。
- 新築当初やリフォーム後は、特に換気や通風を心掛けましょう。
- 気温が高くなる夏は、化学物質の発散が増えるので、窓を閉め切らないようにしましょう。
- 窓を開けて換気する際には、一度複数の窓を開けて、空気の循環を良くしましょう。
- 24時間換気システムのスイッチは常時ONにしましょう。
- 24時間換気システムは、取扱説明書に従い、定期的なフィルター掃除をしてください。

